



(CLUB OFFICE) 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388

今月の聖句

各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。神は、あなたがたがいつもすべての点ですべてのものに十分に、あらゆる善い業に満ちあふれるように、あらゆる恵みをあなたがたに満ちあふれさせることがおできになります。
コリントの信徒への手紙Ⅱ 9章7節～8節

会 長 / 田 中 升 啓
副会長 / 五十嵐由紀
田 中 雅 博
書 記 / 瀬 本 純 夫
山 口 雅 也
会 計 / 左 近 宏 崇
橋 森 昌 史

クラブ主題

絆の力で越えていこう!!! ～一人よりふたり、二人より全員で!～

- 国際主題: I P Henry Grindheim (ノルウェー) "Let us walk in the Light-together." 「ともに、光の中を歩もう」
アジア太平洋主題: A P Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区主題: R D 大野 勉 (神戸ポート) 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」"Healthy mind & healthy body make healthy club"
京都部主題: D G 竹園 憲二 (京都ZERO) "All Hands on Deck!"
メネット主題: RSD 中道 京子 (神戸) 「生きる! 希望を分かち合いながら」"Live, sharing hope!"

【1月報告】

西日本区
強調月間

2月

TOF
CS
FF
STEP for All

各クラブ独自で行っている素晴らしいCS事業をワイズ全体に発信し、自慢しましょう。互いに知り合う事でワイズ活動の活発化を促進しましょう。各種献金は期限までをお願いします。
吉田由美地域奉仕・環境事業主任 (大阪なかのしまクラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ・ブリテンでクラブ内外の人達に事あるごとにアピールしましょう!

伊藤 剛 西日本区 広報・情報委員長 (京都トゥービークラブ)



在籍者数 35名
広義会員 1名
第一例会 28名
メネット 0名
特別メネット 0名
ゲスト 0名
第二例会 28名
メネット 0名
ゲスト 0名
出席率 97%



切手 0g
切手累計 0g
現金累計 0円
E F 0円
J W F 0円
EF-JWF累計 0円



第一例会 33,000円
第二例会 4,000円
合 計 37,000円
二ココ 180,000円



クリスマスドリンク 53,642円
忘年会ドリンク 12,450円
忘年会カラオケ 11,800円
金額調整 12,200円
(大山ハムファンド・ジャガイモ
ファンド・お米ファンド)
合 計 90,092円
累 計 826,751円



献 血 0cc
成分 1名
累計 0cc
成分累計 2名



第一例会 0円
第二例会 3,455円
合 計 3,455円
130周年募金 154,549円

東日本大震災復興・支援募金

第一例会 0円
第二例会 2,352円
合 計 2,352円
累 計 33,165円

一緒に奉仕で親睦を深めよう

地域奉仕・環境委員長 八木 悠 祐



クラブメンバーの皆様、日ごろ地域奉仕環境事業にご協力をいただき有難うございます。また、メネットの皆様にも大きなお力添えをいただき感謝申し上げます。

何とか、皆様のご協力で前期の事業を無事終えることができ、ホッとしております。「ふれあい広場」「BETE-TUDA 祭り」「2017 京都部ワイズデー」など、多くの事業に多くのメンバー・メネットさまにご参加いただき、賑やかに開催できましたこと、たいへん嬉しく思っています。

今期は、各事業に多くのメンバー・メネットさんにご参加いただき、一緒に汗をかき、楽しみながら奉仕の時間を共有することを目標としております。また、事業後のアフター懇親会もファンド委員会に企画いただき、よりメンバー同士の距離が近くなるような事業運営を心がけております。下期には、TOF 例会、チャリティボウリング、メタセコイヤフェスティバルなど、多くの事業がございます。多くのメンバー・メネットさまで楽しく事業を行いたいと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2月、CS月間です。地域奉仕環境事業委員会といたしまして、1年間を通して、CS 献金、FF 献金、ロールバックマラリア献金、TOF 献金をお願いしております。また、その他災害支援に関しての募金も行っております。皆様の献金は、YMCA が行う世界各地での地域奉仕活動の資金になったり、ワイズメンズクラブが行う地域奉仕活動の補助になります。献金や募金を通して、自分たちの目や手の届かない、助けを必要としている方々にその時々に必要な地域奉仕活動や支援に貢献できます。貢献できる喜びを感じていただきながら各種献金や募金にご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

聖句の解説

初代教会のなかでコリントの教会は、比較的経済的に豊かであったようです。そして苦難の中にあるエルサレムの教会を助けるために募金をしようという事になったようです。

不承不承の献金は自らの体面や周りとの関係性で行う行為です。そこには献金を必要とする相手への関心や関与は二の次となります。そうではなく献金する相手の状況を知り、そのことに対しての自らの関与や共感があれば自ら進んで自分の思うとおりの献金ができます。相手のために心から喜んでする献金(奉仕)を神様は祝し、恵みを満ちあふれて下さるという事です。

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

1月第一例会 2018年1月6日(土) 18:30~21:00 がんこ 高瀬川二条苑

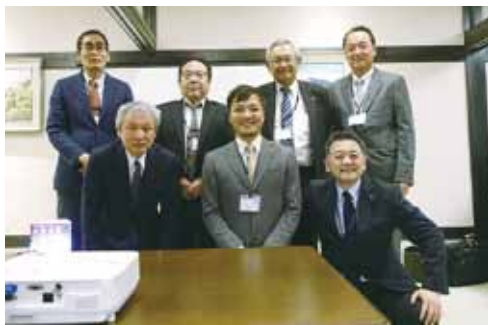
メンバーの親睦が深まる新年例会

広報・ブリテン委員 岡本 尚 男

会場ではメンバーそれぞれの新年のご挨拶があちらこちらで行われ、一堂に会する幸せを共有しおめでたい雰囲気が充満していました。

田中会長の新年のご挨拶で、初詣で「大大吉」のお籤を引き当てたお話があり、大山さんの食前の祈りのあと、吉井次期会長の乾杯に突入しました。

新年に相応しいお料理が手際よく出され、飲み放題のお酒が一気に座を盛り上げた所で、次期三役の発表が吉井次期会長からありました。副会長は石倉さん・幡南さん、書記は柳さん・亀井さん、会計は志田さん・森繁樹さんが吉井次期会長を囲んで記念写真に収まりました。35周年を迎える時期に相応しい布



次期三役の皆さん

陣です。山田英樹 35 周年実行委員長を中心に、田中会長の大大吉のお籤のご利益があることを、心の片隅で祈っていました。

今回の目玉企画は、各メンバーの 20 歳前後の写真の提供が予め求められていましたので、その写真が次々にスクリーンに映し出され、香山さんの軽妙な司会で該当写真のメンバーが登場して、その写真にまつわる物語は生きてこられた人生の物語で、聞き手の皆さんとの親睦の距離を近づけるものでした。金原さんのパソコンの操作とも相俟って 60 分程の映画を見るようでした。志田さんと西川さんは写真がなかったのでお話で終わりました。

皆さんの生きざまのドラマが 1 枚の写真でも 20 年以上も前のものは、それなりに人生の記録として貴重な物語の映像だという事でした。出演者にはドライバー委員会の巧妙な仕掛けがあって、出演料という「ニコニコ」を奉納させられて楽しい新年会は 21 時にお開きとなりました。



それぞれの人生の一コマ



岡本さん
1956年3月22日
華厳の滝にて



亀井さん



田中升啓さん



宮崎さん



金原さん



左近さん



五十嵐さん



山口雅也さん



柳さん



森常夫さん



山口弘子さん



山田英樹さん



山田隆之さん



吉井さん



森繁樹さん (左)



仁科さん



菅原さん



瀬本さん



石倉さん



倉見さん



石村さん



大山さん (左)



大門さん



第33回 京都府中学校野球大会 1980.8.2 ~ 於 福知山

幡南さん



内廣さん



椿森さん



香山さん



八木さん

半 期 総 会

交流・ファンド委員 大 門 和 彦

2018年初となる通常例会会場での会長挨拶は「残念な報告」からでした。当クラブを長年支え、励まし、時には厳しく指導して頂いた、勝山廣一郎さんの退会報告です。誠に残念でなりません……。復帰される日を心からお待ちしています。

委員会報告では、3月に「東京クラブ訪問」のDBC報告等が行われました。その後は、加藤俊明総主事の祈りで始まった食事へと進みました。食後は、本日のメインプログラムの「半期総会」です。議長に幡南さんが指名され、「事業報告」「会計報告」とスムーズに進行しました。

最後は質疑応答の時間です。活発な意見の中で特に関心を寄せた話は「例会出席率」です。「当キャピタルクラブは、月に2回の例会をきちんと行っているのだから、本来の出席率は200%ですが、西日本区のルールは月に1回の出席で、欠席の場合はメイクアップとして予め決められたプログラムに参加する事が認められています。そのルールで計算するとキャピタルは常に100%が可能です。委員会だけは認めています。例会はメンバーの懇親を深める社交の場であり、大切なお客様をお迎えす場所であればなりません。そのためにもキャピタルクラブは常に200%の出席を目指すべき」と。会場内は静まり、各々が何かを感じたようです。年初に当たり、気を引き締めて頂いたミスターキャピタル様ありがとうございます。

来年度に開催する周年事業の成功は「当クラブの出席率に懸かっているのかわからない！」



京都トゥービークラブ 20周年記念事業 熊本復興支援チャリティープロレス例会

ドライバー委員 金 原 弘 明

1月14日(日)、今シーズン最強寒波が去った直後で、未だ厳しい寒さが残る中、トゥービークラブの20周年記念事業として行われた「熊本復興支援チャリティープロレス例会」に出席してきました。

会場は元新洞小学校の体育館、会場に入ると既にたくさんの観客が座っておられました。ワイズの方々のお顔もたくさん見られましたが、ざっと見たところ、観客の半数程度は一般のお客様で、トゥービークラブのご尽力の賜物と、敬服しました。

『プロレス例会』とは、非常に面白い試みと思いましたが、リングアナウンスの紹介で青木会長がリングに上がり開会宣言をするなど、例会の形式もきちんと残っていたのはさすがだと思います。会長に続いては洪水EMC委員長により、熊本復

Y's メン活動における IBC・DBC の意義

東京クラブ IBC・DBC 委員長 比奈地 康 晴



以前関係していた仕事の関係で今も送られてきている British Council (英国文化振興会) の留学交流関係のメールマガジンの最新号は、「地球市民、見果てぬ夢か? (Global citizens: the impossible dream?)」という表題で、現代において世界の大学等での学生教育における地球市民意識の醸成

の問題を取り上げています。通信環境を中心に世界的な繋がりが格段に進んでいる半面、国際政治的環境は遙かに難しさが増えていますので、それへの解決策を幾つか提言していました。1つは、王道的な短期的交換留学の推進、別の識者は教育内容の転換を、そしてもう1つは国際的ネットワークを自らの教育実践に繋げていくことでした。我々 Y's メンの目的も正に「地球市民意識」を目的にしていますし、IBC・DBC の活動がその国際的ネットワークに拠る実践だと言えます。12月に台湾で行われた IBC トライアングル CS プログラムでも台北アルファクラブ作成のポスターに、“ALL MEN ARE BROTHERS” と力強く掲げていました。この IBC・DBC の精神に基づいて、お互いに刺激を受けつつ (京都キャピタルクラブさんの方が圧倒的にお元気ですが!) Y's の精神と活動の幅を広げていければと期待しています。



興支援チャリティーというイベントの主旨と共にワイズメンズクラブの説明があり、ワイズメンズクラブの PR と EMC としての意味も強く持った非常に有意義な事業であることを認識させられました。

プロレスは、生で見るとは初めてでしたが、場外乱闘やマイクパフォーマンス等随所にエンターテイメントショーとしての面白さ満載で、最後までとても楽しんで見ることができました。メインイベントのタッグマッチでは、ある選手が敵の首を締め上げた状態で観客席に向かって、「こいつの親父、お袋はいるか!？」と声を張り上げ、観客席で席を立った女性はどこかで見た顔……。なんと首を締め上げられているプロレスラーはトゥービークラブ 国松ワイズの息子さんでした。その息子さんが試合の最後には「子どもの頃から知っているクラブの皆さんがたくさん見に来てくれてうれしかった」と感謝を述べておられました。最後にチケット購入による収益金・募金の贈呈が行われ、ゴングによる閉会点鐘で閉会となりました。



人生の節目

キャピタルクラブ入会

石村 吉宏

大学を卒業して、すぐに結婚。幾つかの職業を経験して、幼稚園に就職しました。今から40年ほど前の幼稚園は、古き良き時代でした。朝は8時20分から午後4時20分までの仕事で、残業もなく土曜日は午後2時まで、その後、土曜日は休みになりました。春休み、夏休み、冬休みと、一般企業に比べて沢山の休みがありました。しかし、職場は若い先生と、年配の事務員さん、出入りの業者さんともあまり話すこともなく、夏休み中などは世の中から取り残された気持ちで過ごしていました。そんな時に、ワイズメンズクラブの話友人から聞き、チャーターメンバーとして入会したのが30歳の時でした。チャーターした時は、パレスクラブからのキーメンバーも沢山おられて、服装や身のこなし、会話もとても素晴らしく大人の世界の中に入れてもらった気がして大変嬉しかったのを覚えています。

もし、キャピタルクラブに入会していなかったら、沢山のひとと出会う事もなく、狭い世間の中で何もせずに終わっていたと思います。

私の節目

志田 育夫

今年で65歳になる私にとって、人生の節目だったと思うのは、昭和63年9月30日に自分の税理士事務所を独立開業した時だったように思います。それまでは東山区にあった父の税理士事務所ですぐと三人で税務の仕事をしておりましたが、父と兄の勧めもあり、南区で開業いたしました。

当初は妻と従業員一人で始めましたが気づけば30年という月日が経ってしまいました。その間バブル時代の到来やその後の崩壊、税金の徴収では初めて消費税の導入がされ、又東日本大震災の復興を支援するために復興特別税など税の世界でも目まぐるしく変化した時代でした。

今回このテーマを頂き改めて自分の節目とその後の自分の歩んできた年月を考えることができました事はとても有意義な時間でした。自分を支えてくださる顧客の方々やまたその後縁あって当事務所で働いてくれている優秀なスタッフにも恵まれ仕事ができているのも、あの節目となる日があったからだと思います。

京都ウイングクラブ 30周年記念例会

書記 山口 雅也

京都ウイングクラブの30周年記念例会は、1月28日(日)16時からエクシブ京都八瀬離宮「コンベンションホール」で3台の和太鼓のパフォーマンスで幕を開けました。第一部の式典では、北川会長の開会点鐘、ご挨拶から始まり、来賓の加藤総主事、大野西日本区理事のご挨拶、そして30周年記念事業の紹介が藤田記念事業委員長からありました。

ウイングクラブは、チャーター当初から日本海のキャンプ場の開設ワークやサバエの父子・母子キャンプのお手伝いをされていましたが、拠点がなくなったり、プログラムの終了を経て、YMCA 支援や地域奉仕活動の転機があったとのことでした。その後、重度の病を持つ府立医大の子供達のことをYMCAの久保田主事より紹介され、かかわりをもたれたのが、「ソラシドキャンプ」の始まりでした。今、そのキャンプが毎年開催されているYMCAの施設である「サバエ教育キャンプ場」が運営面などの関係で、見直しを迫られ、今後YMCAのサバエタスクチームにより3年間で計画を実行し、今後の結論を導き出すことになりました。30周年の記念事業として、そのサバエが活動できるように今後の基金として、200万円をYMCAへ寄贈されました。

第2部の懇親会では、180名



京都 YMCA 加藤総主事、亀井理事長、大野西日本区理事を囲んで

余の参加者と美味しいコース料理とお酒で歓談しました。IBCである韓国金浦クラブのメンバーも10名ほどこられ、今後IBCをかわす予定の台中グレートビジョンクラブのメンバーも台湾から来日されていました。ゲーム大会では、キャピタルのメンバーも多数壇上に上がり豪華賞品を獲得していました。最後は、冒頭の和太鼓をウイングクラブメンバーが演舞し、20時に圧巻の懇親会の締めとなりました。式典、懇親会の司会は、メンバーとそのメネットのお二人でされるなど、細かい部分にも工夫され、参加したワイズメンも大いに楽しんだ30周年記念例会でした。

参加者 石倉、岡本、金原、香山、田中(雅)、田中(升)、宮崎、山口(雅)、山田(英)

YMCA NEWS

創立 129 年記念会員集会

日時 2月9日(金) 午後7時～午後9時
テーマ 京都 YMCA がおこなう子育て支援
場所 京都 YMCA マナホール

ネパールチャリティーバザー

日時 2月12日(月・祝) 午前11時～午後3時
場所 京都 YMCA 地階・1階(一部)
目的 ネパール YMCA が運営する児童養護施設支援への募金活動
内容 物品バザー、ネパールカフェ(予定)

お問合せ・お申込み

京都 YMCA (TEL) 075-231-4388
(FAX) 075-251-0970
(E-mail) kyoto@ymcajapan.org

リトセン・チャリティーゴルフ大会

日程 2018年3月25日(日曜日)
場所 瑞穂ゴルフ倶楽部 <http://www.mizuho-gc.com/>
京都府船井郡京丹波町大朴皿引1

TEL 0771-86-1515

収益金用途 京都YMCA リトリートセンターの施設・活動費用
集合 7時15分受付開始 それぞれのスタート30分前迄に
受付をお済ませ下さい。

スタート 7時53分(アウト、イン同時スタート 計25組)
費用 プレー費 12,940円 セルフプレー(昼食+ワンドリ
ンク付)

会費 5,000円(チャリティー費・賞品代、表彰式の会食、ソフ
トドリンク含む)

罰金チャリティー OB、3パット、バンカー、池ポチャ
各500円(上限2,000円)

順位 ダブルペリア方式(同ネットはハンディ上位・同ハン
ディは年齢上位) クラブ対抗はネットスコア上位2
名の合計

表彰式 プレー終了後クラブハウスにて軽食パーティと表彰式
を行います。

ビール等、アルコール類は各自清算(車の方はご遠慮くださ
い)。ゴルフ場へはジャケット着用厳守願います。

2017~18年度 ワイズメンズクラブ国際協会 写真コンテスト実施

主催 ワイズメンズクラブ国際協会

応募期間 2017年12月18日~2018年3月31日

応募テーマ 以下のテーマで1人3枚まで提出できます
クラブ活動、コミュニティー・サービス、LT、ユース、
YMCAとのパートナーシップ

賞品

テーマ共通 上記のテーマ分野全体を通じて
1位:300スイスフラン、2位:200スイスフラン、
3位:100スイスフランが贈呈されます。

テーマ毎 各テーマ別に素晴らしい写真に表彰状が授
与されます。

応募方法 ウェブサイト(www.ysmen.org/contests)か
ら応募してください。

応募条件その他の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

HAPPY BIRTHDAY

メ	ン	柳 慎司	2月7日	吉井 崇人	2月11日
		左近 宏崇	2月20日	森 繁樹	2月20日
		石倉 尚	2月24日		
メ	ネット	仁科 節子	2月2日	椿森 ^{ひかり} 光	2月11日
		瀬本 吉美	2月28日		
コ	メット	山田麟太郎	2月2日	長谷川呼春	2月14日
		金原 拓未	2月21日		

HAPPY ANNIVERSARY

山田 隆之・まゆみ ご夫妻 2月18日
椿森 昌史・ ^{ひかり} 光 ご夫妻 2月28日

第7回 役員会議事録

2018年1月23日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉

2月18日(日)第3回京都部評議会
2月21日(水)プリンスクラブ特別例会
2月25日(日)京都部チャリティーボウリング大会
3月25日(日)リトセンチャリティーゴルフコンペ

〈YMCA 報告〉

チャリティラン Reborn 委員会について
Yカップ協賛募集
2月12日(祝)ネパールチャリティーバザー

〈三役会報告〉

各事業報告書の提出時期:3月末までの事業を会長へ提出
CATT 合同例会について

〈各事業委員会報告〉

- YMCA サービス・ユース事業委員会
ネパールチャリティーバザーについて 1階と地下で開催
Yカップバスケット大会 3月17日(土)・18日(日)
焼きそばを提供。協賛広告の依頼など。
2事業中止に伴う今後の取り組みについて
- YMCA リトリートセンター特別事業委員会
今後の事業内容の報告 募金関連報告
- 地域奉仕・環境事業委員会
2月25日(日)京都部チャリティーボウリングの件
TOF 例会の内容について
- ドライバー事業委員会
開催済み例会の報告 ニコニコ報告
2月~3月第2例会までの例会内容の予定報告
- 交流・ファンド事業委員会
ファンド実績の報告。今後のファンド事業について
BF 献金・使用済み切手の送金
- 交流事業
3月24日(土)~25日(日)東京クラブと DBC 開催
ブリテン記事の交換 次は交流委員長同士で交換
- 広報・ブリテン事業委員会
2月号・3月号の骨子の確認。
- EMC 事業委員会
功労会員の資格、扱いを検討
例会出席状況の報告
今後の活動について。予算支出の報告。

〈審議事項〉 ・特にナシ

〈その他〉

次回三役会 2018年2月22日(木)19:00~
次回役員会 2018年2月27日(火)19:00~

編集後記

平成30年かと思っていいたら、あっという間に
1月も過ぎてしまいました。

楽しかった新年例会に、とても緊張した半期総
会。まだまだ人前で話すのには慣れておりません
ので、今年はまだ少し上手に、余裕を持って話せ
ようになろうと思います。

広報・ブリテン委員長 宮崎順巳

